

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.23

開催地：五木村宮園地区

平成19年8月31日（金）、五木村宮園地区（会場：五木村北公民館）において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

同報告会には、約40名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

村内	32名
村外	4名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・天然木なら保水力もあると思うが、人工林は倒れているのが多く保水力がなくなっているのではないかな。
- ・シカによる被害で草本類、低木類がなくなったことにより、保水力がなくなり、さらに山の土砂流出も多い。基本高水流量については、水だけではなく土砂流出によっても増えるのではないかな。
- ・最近の雨では、短時間に降ってもすぐに濁って川へ出てくるため、保水力がないということがわかる。短時間で降った雨が川へすぐに出てくるような状況になっていることへの対策を検討しているのかな。
- ・人吉地点で7,000m³/sを流すには、河床掘削でどのくらい掘削するのか。
- ・基本高水流量は、球磨川流域にどのくらいの雨量が降ったら7,000m³/sになるのかな。
- ・今後、地球温暖化による洪水が多く発生するのではないかな。このことを考慮して7,000m³/sを決めたのかな。
- ・川辺川の計画高水流量1,500m³/sは、どのくらいの雨量が降った場合の流量かな。
- ・下流の人達は、本当ならダムを造ってくれというところだと思うが、ダム問題に反対しているのは、国が納得いく説明をしていないのではないかな。
- ・今年の出水は、雨量が多く川底は下がった。そういう関係で保水力がないと十分いえる。

【球磨川の治水対策について】

- ・説明を聞いて、宮崎で降った雨が、もう少しずれて球磨川で降っていたら大変なことになる。治水計画上、国土交通省はダムが必要だということがわかっているなら、河川整備計画を早く策定してほしい。また、いつになったらダムができるのかを示してもらいたい。

【その他】

- ・この地域も4年連続して国道は決壊、通行止め、そして避難している。下流域の生命財産を守ることは大事だが、この地域のことを守ることも考えてもらいたい。
- ・五木村はダムができる予定で多くの人が出ていき、人口が6,000人から1,500人に減っている。ダムが出来ないのであれば、早く元の人口に戻してもらいたい。
- ・報告会は十分に時間をとって意見を述べる機会をつくってほしい。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日HPに掲載させていただきます。

